

ときのアレコレ

Collection - ときコレ

( セラートの折り鶴 )

平成元年、市の陶磁器試験場（セラテクノ土岐）が紙細工のような焼き物を開発しました。学校給食用高強度磁器素地とパルプを混ぜ合わせ、厚さ0.3mmにすき上げたセラミックスペーパーが材料で、折り曲げたり、切って貼り合わせたり、紙細工のようにいろいろな形に加工でき、薄くて軽い焼き物の造形が可能です。セラミック（陶磁器）とアート（芸術）を融合し、セラート（Cerart）と名付けられました。

この製法で作られる折り鶴は、紙の軽やかさと磁器の硬質感を併せ持っています。セラテクノ土岐にはセラートの千羽鶴が展示され、美濃焼の多彩な一面を味わうことができます。



陶

特集 つながる・ひろがる 老人クラブ

- 06 市政情報
  - 9月10日は下水道の日
  - 救急の日（救急車の適正利用のお願い）
  - 屋外広告物のルールを守りましょう／特定健診受診の案内／まちづくり活動団体への補助金交付／窓口アンケート／国保日曜相談窓口
- 10 情報ひろば／土岐市公民館だより
- 12 ときめきの瞬間
- 14 読者コーナー
- 15 土岐市教育『夢・絆』／給食センター掲示板
- 16 男と女のいきいきコラム／健康ほっとLine
- 17 健康ガイド
- 18 陶史の森だより

市長コラム

つながる力

先月12日、ロンドンオリンピックが幕を閉じました。時差の関係で、テレビのライブ放送が深夜になることが多く、眠い目をこすりながら世界最高峰の舞台で活躍する選手の姿に見入った方も多かったと思います。

私は日本人選手のインタビューを聞いていて、あることに気がとまりました。皆さん、必ずサポートしてくれた人たちへの感謝の言葉を口にしています。個人競技であれ団体競技であれ、スポーツ選手には強い競争心が必要だと思います。しかし、選手たちが口にする周囲への感謝の言葉は、飾りのないとても自然なものでした。支えてくれた人のため、応援してくれた人のため、そこには勝敗の結果では決して語ることのできない「人のつながり」があるように感じました。

今月いよいよ「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」が開幕します。7月30日には両大会の炬火が191人の市民ランナーによって市内を巡りました。私も炬火トーチを持ってリレーに参加させていただきました。次のランナーにつながる事ができたことを大変誇りに感じました。

人は支えてくれる誰かのためにこそ頑張れるのでしょう。両大会に出場する選手の皆さんには、見ている人が感動するプレーを期待します。私たちも応援の力で大会を成功に導きましょう。

土岐市長 加藤靖也